

1982年4月27日(火曜日)

SAK だより

神奈川県スキー連盟
横浜市神奈川区台町16-1
ソレイユ台町 407号室
電話 045(311)8907
発行者:片岡春夫
編集:広報委員会

デッカイドー 神奈川県民スキー 広大なニセコ高原に展開 テクニカルプライズ・クラウンプライズ新設



「県民スキースクール」昔なつかしい県民スキースクールの復活の感があるこの行事は、「指導員研修会」・「準指導員養成講習会」・「アルペン技術講習会」を兼ねて開催。総勢三四〇名を超す大人数が夕日の残照とネオンに色どられた羽田空港を日航ジャンボ機に乗り込み出発した。

会長 河野 洋平



たものといえます。運動量とか、運動の激しさという尺度からみまると、柔道や相撲のような危険度、アイスホッケーやボブスレーのようなスリリングな面がスキーにはありますが、それはちやうど反対に、仲間と楽しく、恋人と二人で、家族みんなで温泉もかねてというような面も共存する

スポーツは、もともとスポーツらしいスポーツとスポーツらしからぬスポーツに分けるとするならば、スキーは、その両方の特性をそなえた運動量

スキー連盟としては、これまでの伝統と実績をきちんと踏襲した上り立つての連盟運営に努めてまいりました。又、より高い技術の完成とスキー人口の拡大、優秀な選手の養成、有資格者の育成等各種の事業を実施してきました。その

「片桐幹雄」氏を講師として、のポール講習会・第二日は愈々大会本番、朝からの猛吹雪の中で競

「オール神奈川スキーヤーズ大会」県内のスキー愛好家を対象として年令・技能レベル毎に中広層の参加者を求めて開催した。

オール神奈川スキーヤーズ大会 片桐幹雄講師を招へい ポール講習

「執行方針」底辺拡大と魅力ある県連づくり。これにでも執行できる体制づくり。規約規程の整備とルールに忠実な執行。『重点事項として』

伝統と実績を踏襲 多大の成果

結果、事業の規模に匹敵したそれだけの成果をあげることができたわけですが、企画運営にあたった担当役員のみならず、各地から参加された協会や単位クラブ構成員のみな様の熱意と協力の賜であり、深く感謝申し上げます。

「実行方針」底辺拡大と魅力ある県連づくり。これにでも執行できる体制づくり。規約規程の整備とルールに忠実な執行。『重点事項として』

テクニカルプライズ・クラウンプライズ合格者

- 第一回テクニカルプライズ合格者**
 - 小関 博喜(相模原) 平賀 淳夫(川崎) 杉山 隆司(厚木)
 - 上田 稔 横濱 藤田 謙一(相模原) 根本 孝夫(相模原)
 - 清水 泉(平塚) 高木 雅寛(相模原) 義達 治良(大和)
 - 田場川 博(川崎) 佐藤 源之(横濱) 二階堂治紀(川崎)
 - 銭亀 英一(横濱) 桐生 武(大和) 原田 実(川崎)
 - 細川 広幸(大和) 畠中 淳太(茅ヶ崎)
- 第二回テクニカルプライズ合格者**
 - 池田 勝弘(足柄) 大淵 泰蔵(相模原) 松本由紀夫(横濱)
 - 笹木 勝彦(川崎) 泉 勝弘(小田原) 松橋 茂巳(横濱)
 - 星 一広(川崎) 細川 直行(平塚) 佐々木和人(川崎)
 - 市川 房雄(小田原) 中島 克人(鎌倉) 福井 謙二(横濱)
 - 佐藤 仁志(相模原) 池垣 龍介(横濱) 安藤 栄倫(横濱)
 - 駒瀬 哲也(相模原) 黒坂 重公(川崎) 鎌木 孝二(横濱)
 - 松浦 誠典(川崎) 竹腰 朗(川崎) 榎本 順五(横濱)
 - 横島 敏夫(横濱) 後藤 学(横濱) 斉藤 嘉治(小田原)
 - 齊藤 真理(相模原) 丹野 幸紀(横濱) 田辺 祐太郎(横濱)
 - 浦本 松信(相模原) 阿部 文善(厚木)
- 第一回クラウンプライズ合格者**
 - 会場 戸隠スキー場 受験者4名 合格者3名
 - 藤田 謙一(相模原) 杉山 隆司(厚木) 高木 雅寛(相模原)
- 第三回テクニカルプライズ合格者**
 - 佐久間俊夫(横濱) 佐藤 晴男(藤沢) 工藤 茂喜(横濱)
 - 三井 政二(川崎) 川久保 守(横濱) 高橋 富雄(川崎)
 - 吉水 雄二(川崎) 荒井 和広(横濱) 鈴木 健一(横濱)
 - 戸嶋 茂樹(川崎) 大石 隆夫(川崎) 村田 正隆(横濱)
 - 石井 博行(川崎) 村越 進(横濱) 茂木伸一郎(横濱)

執行部報告

地区懇談会 今後も定例化



「執行方針」底辺拡大と魅力ある県連づくり。これにでも執行できる体制づくり。規約規程の整備とルールに忠実な執行。『重点事項として』

会を開催した。内容的には「至近な県連について」と「将来の県連の在り方」特に県連執行体制の抜本的見直しと云うことで種々の意見をいただきましたが、結論から云うと、執行部のまとまりのなさ、勿論理事長の責任ではあります。勿論理事長の問題に取り組みしては事前の根拠しや、説明方法、手段に於いて問題が発生し、結果としては十分なコンセンサスを得られなまま、将来的に継続して検討することになった。

基礎スキー

第12回インタースキー「イタリー・セックスステ」の出場権をかけて第三回全日本基礎スキー選手権大会が開催された。

本県からは審判員として片岡専門委員(理事長)選手団として小沢・渋谷ブロック技術員を監督

・コーチ・上田デモ以下9名を派遣した。
会場 長野県白馬村八方スキー場
会期 57年3月11日～14日

予選は深刻、かつ重要に!

大会強化コーチ 渋谷 雄治

初めて強化コーチとしての大役を受け、全日本大会に胸をふくらませて、小学校1年生のつもりで望んでみた。

初めての体験なので、どのようになら選手に対応できるか不安でした。朝、起床から、夜の消灯まで、気をくばる毎日でした。結果として選手からの意見が出ず、現状にいたる。

この紙上において自分の感じたことを率直に書いてみたいと思います。

第1 選手強化について

最終結果において当県連代表は他県連の最低位の結果に終了したと自分自身が思った。

これは選手の問題ではなく、上部の問題にあると思います。まず、デモンストラーターとしての強化個人を強化することにより選手、又、役員としての責任感を重く感じ、それが成績に出るのではないかと自分は思う。

まず選手の強化として、SAK(県連)の行事ごとに2時間、又はナイターでの練習は可能です。

それに、予算がないからデモは参加しなくともいいのではなく、必ず行事等には出席すること。



スキージャーナル 1981/5より

目標は全日本選手権

義達 治良



第一回の基礎スキー選手権が北海道の大和ルツツスキー場で行なわれてから今年の八方尾根の第三回大会まで三年連続出場する事ができた。年々出場するにしたがって選手権の雰囲気にも慣れ少しずつ成績も良くなってきているが満足のできるものではないと思う。

気迫をもって頑張る

細川 弘幸



基礎スキー選手権大会3度目の出場である。神奈川県選通過後のデモ合宿一日しかなかったが、その中で皆で悪い所を注意しあいコーチに注意された事を頭に置いて、今回の基礎スキー選手権に向けて練習してきた。

自分に厳しく!!

田場川 博



今回、2回目出場で153位と悪い結果に終わってしまった。それはこの大会に賭ける気迫、自分自身に厳しくなれと教えられました。総合滑降のゴールデンゾーン違反はやはり集中力が欠けていたのかと反省させられます。昨年月山でのデモ合宿では最高のスタッフの中で見た物、注意された事が勉強になり、シーズンまで期間がありました。雪上立って合宿の成果が上がり滑ることに変わっていく自分のスキーに納得出来ました。しかし県

ダイヤ建設 株式会社

ポイントを理解して練習

上田 稔



今回の基礎スキー選手権大会は私にとって、2度目の出場です。大会に備えてこの練習も不足気味で、多少精神的に不安な思いで、大会に臨みました。結果はそれに応じてか、ケアレミスが目立ちました。自分なりに反省して

志賀セントラルホテ

総合滑降——スタート迄までコブ斜面、のこりは整地された1枚バーンで、それほどむずかしいバーンではなかった、上部コブ斜面を横長のロングターン、続いて

大和観光興業株式会社 | つるやホテル | 松浦スポーツ | ホテル志賀サンバレー | マルセイスポーツ | 志賀高原 あやめホテル | 万座温泉ホテル

スポーツマンシップの本領

闘志 礼節 友愛



部から見た感想を率直に申し述べてみます。スポーツマンシップの本領は1.闘志 2.礼節 3.友愛、これだと信じています。

闘志とは闘牛の様な野獣むきだしのものでなく日本古来の武士道と思わせる奥深いものでなければなりません。勝つ為めには手段を選ばないというのであつてはならない。

礼節とは子が親、後輩が先輩、生徒が先生、勿論当然な礼儀である。その反対に親が子に、先輩が後輩に、先生が生徒に、そうした礼節も重んじなければならぬ。友愛とは理解し合い、信じ合い、励まし合い、助け合うものでなければならぬ。この3つの条件を基調として成長されたチームワークこそ至上のものである。

去る12月に相模原市が誇る総合体育館の落成記念行事に全日本バレーボール男子リーグの競技を観戦した。

日本鋼管対専売広島、富士フイルム対松下電気の対戦である。テレビでバレーボール競技をしばしば見ているのでいささか競技知識もあつたが、直接に熱戦を眼の前で見ると感激した。技術力は世界的水準にあるもので高度なものであるが、チームワークの整然としていることである。

昼食のひとときを全日本バレーボール連盟専務理事の松平さんと歓談する機会を得た。

競技の成果は鋭敏なチームワークの良否によって決定されると語っていた。さすがは世界水準まで精進、育成されたチームプレーの基調はこれだと感じさせられた。これを私等の身の廻りにおきかえてSAJ、南関東ブロック、SAK、地区協会をみたときに礼節、友愛が重んじられてチームワークが醸成されているかを感じてみたときにいささか憂慮される面がある。県内スキー愛好者の団体として伝統と誇りをもつSAKはスポーツマンシップの本領を遺憾なく発揮して自信のある運営に努め洋々たる発展をとげることを切望いたします。

相模原市スキー協会
会長 三塚正二郎

県スキー連盟の役職を離れて早いもので2年近くになります。

離任のときには折角SAKだよりの編集部から離任の挨拶を言われたが私の原稿提出が遅れたのでご挨拶ができなかった失礼をお許しください。今回は離任して連盟を外部から見た感想を寄稿する依頼を受けたので誠に勝手とは思いますが、改めて長い連盟役員としての在任中公私にわたるご交情に対しまして深甚な感謝を申し上げます。さて連盟の業務執行を外

演技者として 指導者として努力

藤田 謙一

神奈川県スキー連盟デモンストラータ選考会を終え、昨年に続き二度目の認定を受ける事ができました。

昨シーズンは、準指取得後のシーズンでもあり、無我無中で出場し幸運にも七位という好成績を残しました。この時は、初めての認定だったので嬉しさの反面不安もありました。デモとしての活動はどのようなものなのか、まだわかりませんでした。

シーズンも終わり、夏も過ぎ、新しいシーズンの行事として、横浜での理論講習会を皮切りに、ニセコでの県民スキー、車山での指導員研修会等をデモとしての役目を努めながら、一月末のデモ選考会を迎えました。

我がクラブはこの選考会を一年の目標とし、夏合宿、正月合宿、ミニ合宿と合宿を重ね、自分も含めチーム全員が、デモ認定をめざし、練習を積んできました。昨シーズンは、3人認定されたので、今シーズンは1人でも多く認定者を増やすのが目標でした。

追う立場から追われる立場だった今シーズンは、昨シーズンよりも精神的に苦しかったけど、選考会に臨むにあたっては、落ちていくのを滑る事ができました。結果は六位と昨年の成績を上回る事ができクラブからの認定者も四名と増える事ができました。

嬉しいと同時に何かこうホッとす様な気持ちが正直な気持ちです。内心、昨シーズンの成績はフロックではないのか、そして、順位を維持しなければいけないという不安が選考会の期間中、常に頭の中にあつた。

結果としては、二年連続認定となりましたが、まだまだ技術の研鑽をしなければならぬ。言葉で伝達されることより多くイメージアップされる部分が多い。デモは生きた「スキー教程」でなければならぬ。現在のより一層強く感じています。



昭和三十七年一月三十一日の朝神奈川県スキー連盟本部、「あやめホテル」の食堂には、二日間のデモ選考の激戦を物語るべく成績が発表された。中間発表で十五位に入っていた私は、最終選考日の

デモは生きた「スキー教程」

小泉 忠彦

昭和三十七年一月三十一日の朝神奈川県スキー連盟本部、「あやめホテル」の食堂には、二日間のデモ選考の激戦を物語るべく成績が発表された。中間発表で十五位に入っていた私は、最終選考日の

デモストレーター選考会

デモ認定を受けて

デモに

選考されて

義達 治良

デモに選考されて今年で四期目早いものである。五十四年に初めて選考された時うれしさと先の不安が相まって複雑な心境だった事を思い出す。まだまだ技術的、精神的にも未熟な自分が大事な任務がなされるのだろうか。今まで人前で話す、経験をあまりもたずに生活してきた私には苦しい事もありました。しかし任務を受けたおかげでこの三年間すいぶん色々な



経験を事が出来私にとっては大変良かったと思っています。スキーを始めた頃はただゲレンデで朝から夕方まで楽しく自由に滑っていました。たまたま先輩の進んでクラブに入り指導員の道を歩きた先輩や仲間にも恵まれ、歩んできたのである。自分の楽しみだけのスキーから指導員になってからの楽しみ方があきらかになっていくが、本質のスキーの楽しさは変わっていないし、なおさら、楽しくなっている。それは技術の向上と色々な人々との出会いだと思えます。都会から離れ自然豊かな所で生活が気持ちよくなったのであります。これからも生活の一部としてスキーを続けていきたい。デモンストラータ選考会は年に一度の我々の楽しみでもあり、緊張感を与えてくれる場である。心臓が高鳴り緊張する事は好きではないが、緊張感のないふだんの生活や仕事に(か)つを入れてくれるのである。年に一、二回の緊張感を味わう事は私にとっても大切な気がしています。これからも出来る限り参加して技術と精神力を養いたいと思っています。デモとしてもまだまだ未熟だがこれからは広い意味でのデモになれる様に努力していかなければならないと考えています。

スキー技術の向上に努める

上田 稔



今回のデモンストラータ選考会には、私にとって4回目の出場です。大会の雰囲気にも大分慣れましたが、より鍛練された滑りを競う大会の本番を迎えた時は前年よりも一層緊張を感じます。

今シーズンは雪不足で思うように練習ができず、緩斜面の練習が

いま一つであることなど若干心配のある出場でしたが、念願の一位になったことは、私なりに努力してきた成果があつたと、とても嬉しく思います。

大会一日目はあいにくの天候でしたが、ほとんどの種目を終えたため2日目は気分的にかなり楽に滑ることができました。

今回の滑りの中で特に谷間スタートに関しては、反省点を残しました。外向傾を意識しすぎたためターンの後半に内スキーに乗りすぎ内傾になるといふ点です。

又、どちらかというと不得手な

正指検定合格者

- 第一会場
中島 英吉(横浜) 小松 良昭(横浜) 唐沢 剛(横浜)
桜井 茂男(川崎) 木村 広(横浜) 小関 博喜(相模原)
第二会場
廣瀬 稔(横浜) 銭亀 英一(横浜) 鶴淵 裕(小田原)
宮園 節(秦野) 二階堂治紀(川崎) 田場川 博(川崎)

準指合格者

- 奇藤 泰男(伊勢原) 榎本 順五(横浜) 後藤 学(横浜)
大浜 保男(横浜) 川久保 守(横浜) 田辺祐太郎(横浜)
大田 顕(相模原) 上原 政勝(川崎) 北出 秀光(横浜)
牛山 貢(厚木) 平塚 清一(横浜) 村瀬 豊(川崎)
杉本 完二(横浜) 佐々木幹夫(横浜) 鈴木栄二郎(横浜)
日暮 芳輝(川崎) 出沢健一郎(川崎) 榎 一成(川崎)
志村 喜夫(相模原) 鍋倉 章伺(横浜) 広内 政司(逗子)
飯塚 明巳(川崎) 鈴木 史郎(相模原) 木田 文治(厚木)
藤井 行徳(川崎) 加藤 弘明(横浜) 鈴木 健一(横浜)
加藤 良子(川崎) 高井 美仁(相模原) 高橋 富雄(川崎)
河合 久嗣(川崎) 市川 房雄(小田原) 吉村 敏雄(横浜)
渡辺 智文(小田原) 山本 英雄(相模原) 広瀬 良介(横浜)
窪田 雅彦(横浜) 齊藤 嘉治(小田原) 岩間 智子(横浜)
本多 賢弘(川崎) 深川 浩一(横浜) 佐久間俊夫(横浜)
池田 勝弘(足柄) 高谷 裕(川崎) 今 普二(横浜)
三浦 芳雄(小田原) 佐々木政憲(川崎) 田村 秀男(川崎)
井上 信一(横浜) 三井 政二(川崎) 笹本 勝彦(川崎)
松本由紀夫(横浜) 小寺 昭夫(横浜) 広瀬 隆一(川崎)
伊藤 幸雄(川崎) 高遠 健司(横浜) 丹野 幸紀(横浜)
香川 利夫(座間) 山田 幸子(川崎) 深見 享男(座間)
松本由紀夫(横浜) 小原 芳夫(小田原) 鈴木 知子(横浜)
横溝 義昭(小田原) 松沢 輝己(逗子) 青木 勝治(相模原)
大石 隆夫(川崎) 鎌田 芳明(川崎) 鈴木 孝二(横浜)
齊藤 真理(相模原) 門田 隆寿(伊勢原) 高橋 章(川崎)
松橋 茂巳(横浜) 石井 将行(川崎) 浦本 松信(相模原)
村田 正隆(横浜) 戸嶋 茂樹(川崎) 岡田 良平(相模原)
茂木伸一郎(横浜) 安藤 栄倫(横浜)
佐藤 晴男(藤沢) 伊藤 章恵(川崎)

おめでとう

日動火災海上保険株式会社

指 合格者 喜びの声

合格者

習会でのバッチテストの発表の時を思い浮かべて「やっとおれもここまで来たぞ」とそんなことを考

「上位十四人の発表をします」といった時、私はまだ心の準備はい

合格発表の時、私の心がドキドキと高なっていた。テクニカル

サポートの アドバイスに感謝 相模ハーモニー 浦本 松信

今年、初めての受けてパスした訳

来年はデモ選ダ 頑張るゾ!! クロイッターSC 松橋 茂巳

めぐり逢いの 大切さを知る 川崎スキークラブ 伊東 章恵

楽しい スキーを指導 慶應スキッピー 茂木伸一郎

私がスキーを始めたころ、ちょうど十八歳の時でした。スキー講習会に参加しました。その時バッチテストがあり、私は検定を受け

はした。それを全部だそうと自分自身をばけし検定の種目を行

私は二級、一級検定を取ることは、技術上達のバロメーターとして考えていました。

今年、初めて受けてパスした訳ですが、特に今シーズンから種目が大幅に改められ、練習もい

今回合格させていたいただきました。ありがとうございます。どうもありがとうございます。

たからではないかと思えます。しかし、検定一、二週間前は「検定の時のムードは独特のもので、とても緊張する」と話しを聞き、非常にあせりを感じてしま

私には非常に恵まれた環境の中でスキーを続けてこられ、合格する事ができました。一重に私一人の力ではなく、諸先生、友人、両親のおかげと感謝しております。まだまだ未熟な私で、指導員としては一年生です。私は女ですが

力に感謝し、人の厳しさの中であたたかさを知り、めぐり逢いの大切さを感じたことはありませんでした。今後ともそのめぐり逢いを大切に生きていきたいと思

私の発表が、成績順に発表され三人の方が合格しました。

私は二級、一級検定を取ることは、技術上達のバロメーターとして考えていました。

今年、初めての受けてパスした訳ですが、特に今シーズンから種目が大幅に改められ、練習もい

今回合格させていたいただきました。ありがとうございます。どうもありがとうございます。

たからではないかと思えます。しかし、検定一、二週間前は「検定の時のムードは独特のもので、とても緊張する」と話しを聞き、非常にあせりを感じてしま

私には非常に恵まれた環境の中でスキーを続けてこられ、合格する事ができました。一重に私一人の力ではなく、諸先生、友人、両親のおかげと感謝しております。まだまだ未熟な私で、指導員としては一年生です。私は女ですが

力に感謝し、人の厳しさの中であたたかさを知り、めぐり逢いの大切さを感じたことはありませんでした。今後ともそのめぐり逢いを大切に生きていきたいと思

私がスキーを始めたころ、ちょうど十八歳の時でした。スキー講習会に参加しました。その時バッチテストがあり、私は検定を受け

はした。それを全部だそうと自分自身をばけし検定の種目を行

私は二級、一級検定を取ることは、技術上達のバロメーターとして考えていました。

今年、初めての受けてパスした訳ですが、特に今シーズンから種目が大幅に改められ、練習もい

今回合格させていたいただきました。ありがとうございます。どうもありがとうございます。

たからではないかと思えます。しかし、検定一、二週間前は「検定の時のムードは独特のもので、とても緊張する」と話しを聞き、非常にあせりを感じてしま

私には非常に恵まれた環境の中でスキーを続けてこられ、合格する事ができました。一重に私一人の力ではなく、諸先生、友人、両親のおかげと感謝しております。まだまだ未熟な私で、指導員としては一年生です。私は女ですが

力に感謝し、人の厳しさの中であたたかさを知り、めぐり逢いの大切さを感じたことはありませんでした。今後ともそのめぐり逢いを大切に生きていきたいと思

私がスキーを始めたころ、ちょうど十八歳の時でした。スキー講習会に参加しました。その時バッチテストがあり、私は検定を受け

はした。それを全部だそうと自分自身をばけし検定の種目を行

私は二級、一級検定を取ることは、技術上達のバロメーターとして考えていました。

今年、初めての受けてパスした訳ですが、特に今シーズンから種目が大幅に改められ、練習もい

今回合格させていたいただきました。ありがとうございます。どうもありがとうございます。

たからではないかと思えます。しかし、検定一、二週間前は「検定の時のムードは独特のもので、とても緊張する」と話しを聞き、非常にあせりを感じてしま

私には非常に恵まれた環境の中でスキーを続けてこられ、合格する事ができました。一重に私一人の力ではなく、諸先生、友人、両親のおかげと感謝しております。まだまだ未熟な私で、指導員としては一年生です。私は女ですが

力に感謝し、人の厳しさの中であたたかさを知り、めぐり逢いの大切さを感じたことはありませんでした。今後ともそのめぐり逢いを大切に生きていきたいと思

私がスキーを始めたころ、ちょうど十八歳の時でした。スキー講習会に参加しました。その時バッチテストがあり、私は検定を受け

はした。それを全部だそうと自分自身をばけし検定の種目を行

私は二級、一級検定を取ることは、技術上達のバロメーターとして考えていました。

今年、初めての受けてパスした訳ですが、特に今シーズンから種目が大幅に改められ、練習もい

今回合格させていたいただきました。ありがとうございます。どうもありがとうございます。

たからではないかと思えます。しかし、検定一、二週間前は「検定の時のムードは独特のもので、とても緊張する」と話しを聞き、非常にあせりを感じてしま

私には非常に恵まれた環境の中でスキーを続けてこられ、合格する事ができました。一重に私一人の力ではなく、諸先生、友人、両親のおかげと感謝しております。まだまだ未熟な私で、指導員としては一年生です。私は女ですが

力に感謝し、人の厳しさの中であたたかさを知り、めぐり逢いの大切さを感じたことはありませんでした。今後ともそのめぐり逢いを大切に生きていきたいと思

私がスキーを始めたころ、ちょうど十八歳の時でした。スキー講習会に参加しました。その時バッチテストがあり、私は検定を受け

はした。それを全部だそうと自分自身をばけし検定の種目を行

私は二級、一級検定を取ることは、技術上達のバロメーターとして考えていました。

今年、初めての受けてパスした訳ですが、特に今シーズンから種目が大幅に改められ、練習もい

今回合格させていたいただきました。ありがとうございます。どうもありがとうございます。

たからではないかと思えます。しかし、検定一、二週間前は「検定の時のムードは独特のもので、とても緊張する」と話しを聞き、非常にあせりを感じてしま

私には非常に恵まれた環境の中でスキーを続けてこられ、合格する事ができました。一重に私一人の力ではなく、諸先生、友人、両親のおかげと感謝しております。まだまだ未熟な私で、指導員としては一年生です。私は女ですが

力に感謝し、人の厳しさの中であたたかさを知り、めぐり逢いの大切さを感じたことはありませんでした。今後ともそのめぐり逢いを大切に生きていきたいと思

私がスキーを始めたころ、ちょうど十八歳の時でした。スキー講習会に参加しました。その時バッチテストがあり、私は検定を受け

はした。それを全部だそうと自分自身をばけし検定の種目を行

私は二級、一級検定を取ることは、技術上達のバロメーターとして考えていました。

今年、初めての受けてパスした訳ですが、特に今シーズンから種目が大幅に改められ、練習もい

今回合格させていたいただきました。ありがとうございます。どうもありがとうございます。

たからではないかと思えます。しかし、検定一、二週間前は「検定の時のムードは独特のもので、とても緊張する」と話しを聞き、非常にあせりを感じてしま

私には非常に恵まれた環境の中でスキーを続けてこられ、合格する事ができました。一重に私一人の力ではなく、諸先生、友人、両親のおかげと感謝しております。まだまだ未熟な私で、指導員としては一年生です。私は女ですが

力に感謝し、人の厳しさの中であたたかさを知り、めぐり逢いの大切さを感じたことはありませんでした。今後ともそのめぐり逢いを大切に生きていきたいと思

私がスキーを始めたころ、ちょうど十八歳の時でした。スキー講習会に参加しました。その時バッチテストがあり、私は検定を受け

はした。それを全部だそうと自分自身をばけし検定の種目を行

私は二級、一級検定を取ることは、技術上達のバロメーターとして考えていました。

今年、初めての受けてパスした訳ですが、特に今シーズンから種目が大幅に改められ、練習もい

今回合格させていたいただきました。ありがとうございます。どうもありがとうございます。

たからではないかと思えます。しかし、検定一、二週間前は「検定の時のムードは独特のもので、とても緊張する」と話しを聞き、非常にあせりを感じてしま

私には非常に恵まれた環境の中でスキーを続けてこられ、合格する事ができました。一重に私一人の力ではなく、諸先生、友人、両親のおかげと感謝しております。まだまだ未熟な私で、指導員としては一年生です。私は女ですが

力に感謝し、人の厳しさの中であたたかさを知り、めぐり逢いの大切さを感じたことはありませんでした。今後ともそのめぐり逢いを大切に生きていきたいと思



信州志賀高原 ●高天ヶ原 ● Success Holiday Hotel Takimato

喜びの

心臓ドキ・ドキ
ジーンときた発表

相模ハーモニ

斉藤 真理

一九八二年、一月一日、八幡平の白い世界で、私の今シーズンが始まった。一本一本のつみ重ねが準備合格につながっている。お信じて滑り込んだ。

しかし、ただ滑るといってもそんなに生やさしいものじゃない。スキーは、とにかく孤独で厳しいもの。足の軟骨の痛み、手も足も全く感覚のなくなる程の寒さ、そして、リフトが止まって足で登る時の苦しさ、……いくら、いくつもの壁が、私の前に現れる。でもその壁を乗り越えている時、結果はどうであれ、こんなに充実の時間を、準備という目標があるからこそ、送れるんだと感じた。

の道のり。スタートの時、心臓がはざけソコ、ドンドンとなつていく時、勝つゾ、って思ってた。スタートしたい、何のために足に軟骨を出して、寒い日にもやけをつくりながら、滑ってきたのかといえ、すべて、この日のため、まだまだやり足りないことはあるけれど、これが私の滑りです。見て下さいそんな意気込みで滑るゾって。



「ゼッケン一四六番、お願いします」ブルーフ、Aカリ、シユテム時間の流れと共に、種目は終つていく、まあまあだったな、と思うものが三分の一、胸をえぐられるような後悔の残る滑りが三分の二浮かんだり、落ちこんだり、けど失敗してもよくよくない。だって、私を包む山々は、こんなにも雄大で、人間の存在なんて小さくて、ましてや、私の存在の、そのまた小さな失敗なんて、目に見えない程、等と余裕を見せて、深呼吸。

指 準
特集

ようやく、まな板の上の鯉は、料理され終つた。緊張の九種目がやつと終つた安ど感にゴーグルの中目が、チョッピリ汗をかいた。そして、次の日の合格発表。私の名前が呼ばれた。座っていたイスにバネがけがしてあるかのようにとび上って喜ぶ私。

生まれて始めてスキーをした日、スキーってなんでもおもしろいんだらう、雪ってなんでもきれいなんだらう、そんな小さな、きつかけがこんな大きな夢を実現させてくれた。白い魔物にとりつかれただけの自分だと思つてたのに、いつの間にか準備指導員、なんだか照れ臭いような、いばつてみたいような、複雑な心境。

でも私は、心の底から感謝したい。山があり、雪が降るといふこと、忘れがちな自然の恵み。ここまでは、応援してくれた友達に、スキーに行くといふと怒つたふりをしながら、心の中で頑張れよ、って家を出してくれた家族を、準備という目標を達成して、資格そのものも、もちろん大切だけれど、ここにたどりつくまでの、右に左に曲がりくねった足跡をふり返ることも、大切なことだと感じる。

反省と展望を
改めて考える

門田 隆寿

私が、スキーの板を履いてから早や八年目のシーズンが過ぎてゆくこととして。八年目にして、今まで遠くに感じていた準備指導員という資格に、初の挑戦で無事合格することができて、喜びもひとしおである。私がスキーを始めたきっかけというものは、体育大に学んだが、必要やまねぬところから、スキー実習でスキーを学んだことからである。それからというもの、冬には、スキーしかないという生活が始り、休みといえは、スキー場へと通う日々が始まったわけである。私のセカンドスポーツとしてのスキーは、私に、良い友人や先輩、クラブをあたえてくれ、又スキーの楽しさ、だいたいを充分に教えてくれた。今になって、本当にスキーをやつていて良かったという気持ちわきあがってくるようである。

十月の申し込みから受検までも生活の移り変わりは、一言では言い表わしようのないものである。毎日が、何ともいえないプレッシャーのかかった緊張の日々であった。ような気がする。十二月からは休みと言えはスキー場へ通い、職場でも、ひまさえあれば、ビデオを見て、教本教程をひっぱり出して読んだり、理論武装にあけくれた。AカリBカリと言われても何が何だか理解できなかったのが、

国立公園志賀高原
スポーツマンヴィラ
アルペン

アゴが出ないように、だった。つづいて理論。理論は前年度の答案用紙を見せてもらい、こんなものかと思ひ、てきとうにやったのが、大失敗。いざ本番、答案用紙が5枚もある。赤くなつたり、青くなつたりで、何んとか8割位埋めてはみたが、多分ダメだと諦めた。結果は、誤字脱字も認められてしまった。かろうじてパス。次は実技。種目を見たから始めて聞くものがある。小まわりターシムA・Bである。初めて教つたのはクラブの正月合宿で、戸隠のスキー学校の先生で泊つている宿の息子さんだった。長野の研修会で覚えて来たので、コーチしてくれろとのことで教えてもらい、イメージが出来て、前期養成講習でほぼ完全なものとなった。そのあとの講習会で欠点を指摘してもらい、注意点を教えて頂いて、あとは自分がいかに本番で、注意点を忘れずに演技するか、の問題となった。検定当日、天候は良好、緊張はしているが上つてはいない。もし落ちれば理解が違ふんだと思ひ、滑つた。自分でかなり満足出来た滑りだった。これでいけると思ひ、リラックスメ出来た。初日の自己採点は全てOK、若干総合規定が心配だった。2日目苦手のステッパからスタート、何んとかこなし、総合自由、いい感じで滑れたがこれだけ落ちていた。制限滑降、1本目悪いけど出てコースアウト、すぐ戻つたがタイムオーバー、2本目で何んとかクリヤ。3日目発表、自分の名前が呼ばれた。

増
株式会社 増田屋
〒211 川崎市中原区小杉町3の432
電話 (044)711-3111代

るまでに、びっしり汗をかいた。これで帰れると思ひ安堵した。今回感じた事は、まず理論を正確に覚えること。それと基本姿勢を確実に演技する。リズムを守る。これからは、指導を実践する機会がより多くなるだろう。分り易く、楽しいスキーが教えられる様、勉強したいと思つた。

クラブ員に
励まされ

ジャンボスキークラブ

二度目の受検。昨年の検定に失敗してからのこの一年間は、私のスキーライフの中でも最も思い出深いものになるでしょう。昭和56年3月1日。いよいよ二日間の検定会の結果が発表される時がやってきました。ゼッケン番号が次第に私の番号に近づいてきます。しかし、115番は呼ばれません。何故、合格ラインに達しなかったのか、今その原因を考えると第一に技術的に未熟であったこと、第二に技術的理解不足であります。戸隠からの帰途、検定会での自分の滑りを思い出す、そしてどこが未熟であったのかを見い出そうとしましたが、何の答えも得られませんでした。家に着くまでの時間が何と長く感じられたことでしょうか。それからの数ヶ月間、一度はスキーを放り出そうとも考え、悶々とした日々を過ごしました。もちろん再受検のことなど考える余裕もありませんでした。昭和56年7月18日。クラブの総会に出席し、スキーの話をしていくうちに、「よし、もう一度挑戦してみよう」という気持ちが起こつたのは、自分でも不思議でした。やはり、クラブ員の言葉ほど励みになるものはありません。そして、シーズンイン。受検までできる限り丁寧に滑ろう、一本一本を十分に考え大切に滑ろう、そんな意識をもって練習を続け検定会に臨みます。昭和57年2月26日。いよいよ検定の日はまじりです。ブルークボーゲン・バラレターンと順に進んで行くにつれ、自分の滑りの欠点

私が進指を受けよと決めたのは、昨シーズンで、主たる理由はクラブの主将になった事と、合宿等における指導力不足を感じたから、それに滑りが自分自身、変わったことが自覚出来たからだった。以前は、一級がとれば良いと思つてた。スキーを始め7年目だったので、一級をとり、準備などでは、先にも述べた様な理由で立場上一回は受けなければ、と決心した次第である。まづ私が、受検のために始めたのは、オフ・トレで、検定の時に

私が見えはじめました。上体の構えの悪さ、後傾、膝の硬さ等、しかし、今となっては、もうどうすることもできません。とにかく最後まで丁寧に滑ることだけを考えた。検定員の方々の目にとのようにつつまかか知るよしもありませんが、私自信にとっては精一杯のものでした。昭和57年2月28日。合格発表。検定主任の厳しい言葉の後、合格者のゼッケン番号が呼びあげられてゆきます。私の脳裏には昨年と同じ場面が浮かんでいました。そして結果は、同じクラブのひとりが見事上位で合格、そして私を含め、六名の準備指導員がひとつのクラブから誕生したことは、とてもうれしく、誇りに思えることでした。又、サポートをしてくれたクラブ員への感謝の気持ちとこれからの責任の重さを感じました。

信州/蓼科高原
日本ピラタス
観光株式会社
長野県茅野市蓼科高原
☎(026667)2340・3220・2961

志賀高原
志賀
グリーンホテル
長野県下高井郡
山ノ内町志賀高原
☎02693 ④ 2924

東名御場ICから25分
富士山に向つて
日本ランド
スキー場
TEL 05599-8-1122代

にも、この楽しさを伝えることができるような指導員を目指し、研鑽に努めて行きたいと思ひます。楽しい
スキーを指導
リーベンスキークラブ
石井 博行
私は、今回の準備指導員検定は昨年に続いて二回目の受検になりました。それだけに今回は、自分なりに努力して悔いを残さないような成績を出し合格したいと思ひました。そして発表の瞬間、自分のゼッケン番号を呼ばれた時は「やった」という思いで嬉しくてたまりませんでした。それに意外に成績も良かったので自分でも満足しています。しかしこれで終つたのではなくこれからもっと勉強し技術を習得したいと思つています。そして指導員となつたいクラブの後輩や職場の人たちに、楽しいスキーを指導していきたいと思つています。そして年をとり、いつまでもスキーをしたいと思つています。

SAJ 傷対委員会の動向

SAJ 傷対委員長 園山 和男

公パト検定会における AB 単位の一歩化実現せず

(1) 昨年度(五六年四月二四日付) SAK だよりでふれま

た、公認パトロール検定会における AB 単位の一本化は情勢の変化により実現せず、現在文部省公認検定の認可を得るべく傷対委員会内において小委員会を設け検討中です。

その内容は養成講習会(三泊四日)と検定会(二泊三日)にわかれますが、養成講習会には必修として義務づけるのではなく、パトロールを目指す方々が自習自習で必要な知識と技術を身につけるべく努力していただくことになり、内容で、検定会は実技、学科共に検定のみを行なうとするものです。

昨年十二月十六日文部省体育局長高石邦男氏にお会いし種々話す機会を得ました。その際、スポーツ課長戸村敏雄氏にもお会いして概略を説明してありますので今回は具体案を持参して面談し適切な御指導を得て早期に実現したい意向であります。

(2) スキー傷害の調査

「ケガをさせてからでは遅すぎる」。ケガをさせないよう「ケガをさせないよう」を目標として今後のパトロール活動が展開して行くことを願って毎年 SAJ 傷対委

私達の「ゼロロススキーチーム」クラブは、スキージャーナルなどの雑誌から草大会の日程を知らび、主に上越方面に出向いてのスキーをするクラブです。

クラブ発足当時は、県連主催の大会に参加していましたが、実力差が気持までレースに出してしま

私は草スキー大会愛好者

藤沢スキー協会 榎 衛

ライバルはチームの仲間、ひよっとしたら大会にも上位入賞が出るかもしれないと言ふ気持が出る

て来て、余計ハッスルします。シーズン中の全ての大会を得点制にして、チーム内の順位を決め、年間会費の総金額で、トロフィーやカップを出し合うので、楽しさと会費の元金を稼ぐ勝負根性も、ストレス解消として楽しいものです。

が多いのも例年通りである。L 使用スキー 自分のスキーが七四%で前年と全く同じで約二〇%がレンタルである。M スキーの材質 七五%がグラススキーで主流となっている。

N スキーの長さ 一六五種より一八〇〜一八五種あたりのビークは女性用、一八〇〜一八五種あたりのビークは男性用と思われる。O 使用靴 スキーと同様七五%が自分の靴で約二〇%がレンタルである。P 靴の材質 ケミカルが九三%と少しふえており、結具の解放性能を阻害する皮やゴム靴はやや減少している。

Q 靴の高さ 二〇種より三〇種くらいのところを七四%占めている。R 結具 ステップインが五三% ワンタッチが四〇%と前年よりステップインが増加傾向にある。ワイヤー、ロータリー式でのけがが六%もある点過去の古い結具は安全性に問題があるといえよう。

S セーフティ装置 けがした人の五三%は調節の仕方を知っており購入時調節の仕方を教わった数とほぼ同じであるが教わらない人が依然として四四%もあったことは問題である。これはひとつ販売店の責任というだけでなく、スキーヤー自身も調節の仕方を覚えようとの意欲をもつことが大切であろう。自分で調節したことのあるスキーヤーは四一%で十人中六人までは調節したことがないと同答している現状である。

T 調節 以前に調節したか、してもらったままの人が六七%で全く調節したことがない人が三三%と前年より多くなっている。当日調節した人の殆んどはレンタルスキーで調節したものを借り出したということである。結具については「安全結具も調節次第」ということを周知させる必要がある。

U 調節の度合い 中・強・弱と前年と同じ順である。弱調節は前年と殆んど変わらずも弱での使用が望まれる。V 転倒した時結具は はげれないでけがをした人が五六%で前年と全く同じ、四四%の人ははげれてもけがをしていない。

W 傷害保険 加入している人が前年の二四%より今年は一三%にふえている。しかしまだまだ低い加入率であり衝突事故が訴訟沙汰になっている今日、自損行為のみならず賠償責任保険もセットされた保険への加入が望まれる。



小智坂

ール必読の書として出版された、わかり易い解説と多くの写真の併用は充分御期待に添えうものと確信しております。多くの方々がお読み下さることを希望しています。

(4) 国際スキーパトロール連盟 (FIPS) 総会に出席して、五六年六月二日〜六日、オーストラリアのスレドボススキーフィールドにおいて開催された標記総会に傷対委員二名、パトロール技術員三名、公認パトロール七名、計十二名が出席した。数十議題を消化するので連日の会議は参加各国共に熱心な討議の連続であった。議事の細部は SAJ に報告済みであるがここでは割愛して所感を述べると、FIPS の性格は情報交換の場であって FIPS でこうしようというものではない。ケガ人を如何に少くし、パトロールの働きをしやすくしようにし、手当てを考え、各国の事情と話し合う。一部議決事項もある。

B 本人も他人も社会もボランティアに対する考え方が日本と諸外国では異なる。

C 経営者、パトロールともに自分の所属するところは「安全なスキーリゾート」であるという誇りがあり、その誇りをみみす対策がある。

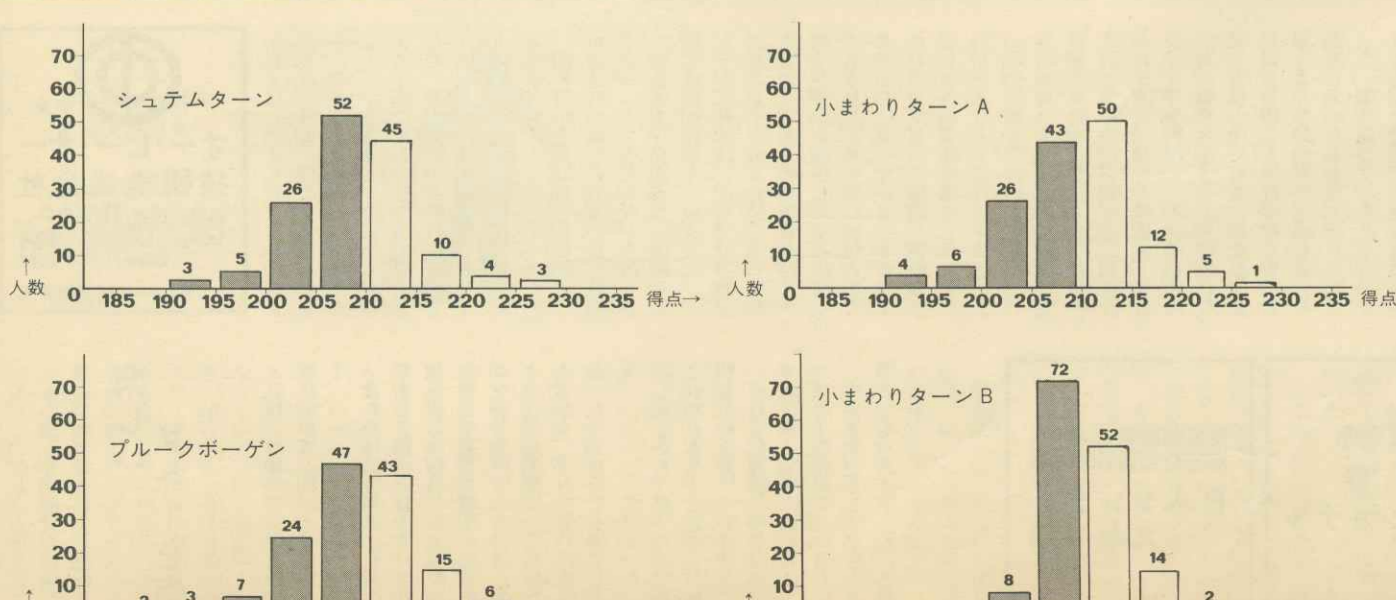
D 他国はパトロールの人数を多くかかえ事故防止に努めている。日本はもとと養成し且つ多く配置すべきである。

E 討論の内容、書籍等の資料ははるかに日本が進んでいるが行政面での反映、保険面でのおくれがある。

F スキー場経営者の考えとパトロールとの関係でそれぞれ責任を明確にし相手を尊重している。

準指検定種目別 ヒストグラム

今年度の準指検定の指導種目をそれぞれ種目別に整理をしたものである。指導種目に力点を置いてきた理由については述べてきた通りである。したがってこのグラフを見て、それぞれ分析をし、反省をし、今後役立たせて欲しい。



研究会

万全の地元受入体制 SAJ検定規定を修得

神奈川県より四五〇名の指導員の方達が来れるので、毎日夜人工降雪機をフル運転で雪を降らししたそうです。

今年度の研修テーマである、「基本運動と基本操作の確認」「指導カリキュラムの展開」

SAJ検定規定全面改訂という事で参加者全員真剣そのものであったアロク技術員、デモストレーターにより模範演技が披露され、洗練された演技に参加者一同の視線が集中した。

各班に別れ研修に移り、乗り降り系、踏み出し系の運動感覚の違い交互動作の広範囲な技術等の確認頭の中で確認出来ても、身体が思うように動かないのが実感であった。

突然ハプニングが起る。片岡理事長より、今年度正指導員を受検する者は、……

SAJ検定規定全面改訂とあって理事長みづから特別指導研修に出て全員合格するように講習をして下さった。

夕刻宿舎にミーティングが開かれ特に検定規定改訂とあって検定基準に質問が集中した。

昨夜より雪が降り五センチぐらいの新雪を見た。昨日変って雲一つ無い快晴、青空の下二日目研修会に入る。

遠く南北両アルプス、ハツケ岳、浅間山の噴煙が見え、その風景のすばらしさに、今までの疲れも忘れてしまいたいそうだった。

二日間の研修成果は大変大きく今後指導の中で役に立ち、技術操作要領等を受講生に伝え今後の活躍が期待され、シーハイルの音が車山高原にこだまし無事指導員研修会が終了した。



第33回神奈川総合体育大会リレースタート風景(戸隠スキー場) 優勝 横浜市

記録

- △第十九回全国中学校スキー大会
神奈川県選考会
△第六〇回全日本スキー選手権
神奈川県選考会
△第四回神奈川県民体育大会
兼、第三七回国体スキー競走会
神奈川県選考会
日時 昭和五十七年一月二十一日
一月二十四日
場所 長野県戸隠スキー場
全中予選(回転の部)
一位 齊藤雄二(北相中)
一分五秒三〇(一分〇三秒二六
五秒四六六)
二位 布野 恒(菅田中)
二分〇六秒三六
三位 吉田新一(日大中)
二分〇九秒七六
(大回転の部)
一位 安藤一秀(岡村中)
一分〇七秒三〇
二位 吉田新一(日大中)
一分〇九秒九一
三位 田畑裕治(西浜中)
一分〇九秒九二
全日本選考会(回転の部)
女子の部
一位 熊谷総恵(高体連)
一分四一秒六四
(五一秒七七・四九秒八七)
二位 池田美幸(スポーツマン)
一分五〇秒一八
三位 馬淵洋子(日本女子大)
一分五四秒三二
男子の部
一位 伊藤明成(ユール)
一分三三秒七二
(四一秒二五・四一秒・四七)
二位 三塚伸幸(ユール)
一分二四秒八七
三位 宗田敏之(ユール)
一分二五秒二九
四位 三輪晋也(ユール)
一分二六秒六一
五位 山根 功(キヤタヒラ三菱)
一分二八秒四五
六位 柏木 勉(ウルル)
一分二九秒〇一
- 大回転
女子の部
一位 馬淵洋子(日本女子大)
一分〇五秒二四
二位 倉田郁子(慶応大)
一分〇五秒五五
三位 大下桃子(日本女子大)
一分〇七秒九五
四位 池田美幸(スポーツマン)
一分一三秒六六
五位 大内美紀(アールベルグ)
一分一三秒八〇
六位 熊谷総恵(高体連)
一分一三秒八〇
男子の部
一位 宗田敏之(ユール)
一分〇〇秒二二
二位 加賀 孝(専修大)
一分〇〇秒一八
三位 柏木 勉(ウルル)
一分〇一秒〇九
四位 伊藤明成(ユール)
一分〇二秒三五
五位 羽賀 清(横浜スキー)
一分〇三秒六一
六位 三塚伸幸(ユール)
一分〇三秒六一
神奈川県民体育大会・兼国体ス
キー競走会神奈川県選考会
成年女子二部
一位 汐見美紀(厚木スキー)
一分一四秒〇〇
二位 池田美幸(スポーツマン)
一分一六秒七
三位 伏屋真澄(スポーツマン)
成年女子一部
一位 倉田郁子(慶応大)
一分〇九秒一
二位 馬淵洋子(日本女子大)
一分一一秒八
三位 大下桃子(日本女子大)
少年女子
一位 熊谷総恵(高体連)
一分一一秒〇九
二位 富田令子(高体連)
一分三三秒四六
三位 前田 薫(高体連)
成年男子二部
一位 荒木豊志(東電コボック)
一分〇四秒八六
二位 岡本敦英(国鉄中原)
一分〇六秒七六
三位 小野寺忠直(厚木スキー)
成年男子一部
一位 水野浩二(日産東体)
一分〇五秒二四
二位 馬場敏雄(アルペン)
- 一位 山根 功(キヤタヒラ三菱)
一分〇六秒五六
二位 伊藤明成(ユール)
一分〇二秒六一
三位 柏木 勉(ウルル)
一分〇二秒七三
三位 加藤与志則(専修大)
少年男子
一位 三枝 修(高体連)
一分〇一秒七五
二位 青木智之(芝高校)
一分〇二秒九三
三位 室屋修一(高体連)
- 寸評、戸隠の積雪量も少なく、し
やくなゲコースが使用できません
ので、岩戸コースで行なった。回
転競技は、途中キケンが多く見ら
れた。大回転コースも雪が少なく
設定に苦労したが、選手の協力に
より、幾度かのコース整備を行な
い、選手が同じ条件で競技が出来
るように配慮し、怪我人を出さず
に終了することができた。
- 第三九回神奈川スキー選手権
日時、昭和五十七年三月五日〜七日
場所 上越国際スキー場
回転競技
女子二部
一位 池田美幸(スポーツマン)
一分一八秒四九
(三九秒八五・三八秒六四)
二位 伏屋真澄(スポーツマン)
一分二二秒二六
三位 池水節子(同好会)
女子一部
一位 大内美紀(アールベルグ)
一分一五秒八〇
(三七秒五七・三八秒三三)
二位 高橋みゆき(てんぐ)
一分二六秒三六
三位 井上令子(てんぐ)
男子五部
一位 村石 勇(いすず川崎)
一分三三秒九二
(四四秒三二・三九秒六六)
二位 青木規生(教職員)
一分三三秒九三
三位 山本信義(川崎スキー)
男子四部
一位 矢沢治巳(ウルル)
一分三三秒二二
(四五秒三五・四五秒八六)
- 男子二部
一位 戸沢真美(秦雪スキー)
一分〇九秒七三
(三五秒九六・三三秒七四)
二位 高橋謙吉(アルペン)
一分〇九秒九〇
三位 鈴木洋介(ウルル)
男子一部
一位 深見和男(スポーツマン)
一分〇七秒一七
(三四秒三四・三三秒八三)
二位 馬場敏雄(アルペン)
一分〇七秒九八
三位 菊地富士夫(横浜スキー)
男子一部
一位 養田茂樹(東海大)
一分〇四秒四四
(三二秒九七・三二秒四七)
二位 宗田敏之(ユール)
一分〇五秒九二
三位 水落文夫(スポーツマン)
少年男子
一位 高橋公樹(高体連)
一分〇八秒五三
(三四秒七三・三三秒八〇)
二位 室屋修一(高体連)
一分一三秒四九
三位 塚脇 誠(ユール)
- 大回転競技
女子二部
一位 汐見美紀(厚木スキー)
一分二八秒七八
二位 伏屋真澄(スポーツマン)
一分三六秒四一
三位 下山秀子(横浜スキー)
女子一部
一位 高橋みゆき(てんぐ)
一分四〇秒八八
男子五部
一位 丹羽一夫(横浜スキー)
一分三〇秒〇七
二位 山本信義(川崎スキー)
一分三三秒九四
三位 細井健吾(同好会)
男子四部
一位 山本 稔(てんぐ)
一分二九秒三二
二位 磯崎忠治(三菱鎌倉)
一分四四秒八七
三位 矢沢治巳(ウルル)
男子三部
一位 高橋謙吉(アルペン)
一分三三秒五一
二位 鈴木洋介(ウルル)
- 三位 大原伸悦(アルペン)
男子二部
一位 馬場敏雄(アルペン)
一分二一秒一六
二位 菊地富士夫(横浜スキー)
一分二一秒九九
三位 関根広美(横浜スキー)
男子一部
一位 篠村竹美(国土館)
一分一九秒七二
二位 宗田敏之(ユール)
一分二〇秒二二
三位 根岸信介(逗子スキー)
少年男子
一位 室屋修一(高体連)
一分二一秒六二
二位 新穂浩士(高体連)
一分二一秒八〇
三位 島田新一(高体連)
距離競技
女子五K m
一位 矢野知子(てんぐ)
二八分一〇秒
男子三部一五K m
一位 北川松男(横浜スキー)
三六分三三秒
二位 勝又敬夫(日産東体)
三十七分四六秒
男子二部
一位 藤木 豊(日産東体)
三十三分四九秒
二位 笠原清治(東芝)
三十四分二四秒
三位 小笠原英樹(日電玉川)
男子一部
一位 佐々木忠(東芝)
三十三分三三秒
二位 柏木正彦(国鉄大船)
三十三分四六秒
三位 上条 敦(日電玉川)
リレー競技
一位 東芝チーム

寸評、初めて上越国際で県選手権
を開いたが、競技運営、斜面とも
一流の運営が出来たと思います。
特に大回転コースは、上越国際で
も五指に入る大会のみ使用するパ
ーンも使用した。コース整備も各
選手のつば足がよく効き万全のコ
ースに仕上がったことは、大変う
れしく感じました。記録的にも良
い結果が現れ、選手も満足感のあ
る大会となりました。

今シーズンを省りみて クラブ 代表者会議に出席を!



事務担当 副会長 園山 利男

事務量の増加に伴い理事長、加藤総務部長はじめ理事の諸兄、事務局員の仕事はそれぞれ大変でしたがよく消化して下さいました。ただ今度の課題としては事務の流れ、仕事の負担に伴う権限と責任の所在等改善を加えねばならぬこともあります。謙虚な反省を主台としてよりよい果連の執行への努力を重ねたいと思います。

なおこの一年総務としての主な事項をあげてみますと、
 (1) 借入金返済
 事務所取得に伴う借入金を完済いたしました。各部での経費削減の努力がみられたものと思えます。又会員各位の御理解と御支援のたまものと感謝する次第です。
 (2) 各種会議

昨年この会報でお願い申し上げたに期待したい。基礎選での及川デモの活躍が目された。今後最後に北海道果民スキーについて一言、普及事業の原点であるこの行事を、もっともっと大きく育てたい。夜を徹しての部屋制作業も、現地で雪と楽しむ姿をみれば一夜にして消える。まさにスキーの楽しさの心髄である。まさに果民のいい場所としても充実が望まれるところである。いすれにせよこの半年の間、泣いたことである。人生喜怒哀楽であ

たく存じます。
 (3) 各種委員会の開催
 規約規程委員会、広報委員会、役員選考委員会が開催されそれぞれの方角づけとか内容の検討とか検討に伴う良否の問題とかが審議されました。各協会代表の委員の方々はじめ執行部の担当者も大変なことであったと思えますが、なるべく衆知を集めて行くという方針ですので今後ともよろしく御協力の程お願いいたします。
 (4) 今後の課題
 事務所取得に伴う借入金の返済も片付きましたのでいよいよ法人化に意を注ぎ実質的要素をととのえるべき時期に来たと思えます。今年度で得れば法人化の設立準備委員会の発足までこぎつけたものです。



普及部より

小まわりターニンに始まり、小まわりターニンに終わった今シーズンであった。

雪無し果の昭和五十六年度普及事業が、会員、クラブ、協会の協力で無事終了し、今、安堵している。改めて感謝申し上げたい。昨年、日本スキー教程がまったく姿をかえて登出し、更にそれをサポートする意味で、今年、指導教本が出された。

日本のスキー場の現状(せいまい) ショートコース等を踏まえ、質の転換を求め、合理性を追求して考えられたものだ。指導員各位はこれらを研修会を通じ、受け止めていかなくてはならない。実際の指導で成果をあげるのにはこれからであろう。自分のものとして指導上役たせて欲しい。
 指導員研修会は現在三本のコースで実施している。年末、正月行

各部から一言

準備検査、正指検査は検査規程大改訂の中で大変な苦勞があったと思。改めてこの紙面でお祝い申し上げたい。

お目出とつ!
 『スキーにお金を費やすことは人生への投資である』
 — ゲーテ — ?

と考れば、失敗組も少しは気が楽になるだろう。再度頑張ってもらいたい。
 デモンストラター選者会では若干の入れ替えがあった。デモの強化の面で今後新たな方

る。大山での指導員検査のことであった。六十才近い熟年の女教師が合格した。涙、涙、涙……

『この感激を子供達へ伝えてあげます』
 と言っている。目も押しさえていた。この感激があるから、人生は楽しいのだらう。いつまでも持ちつづけたいものである。

趣味としてのスキーと自分の仕事とはたえずバラレルで考えるのも豊かな人生への第一歩である。



強化部より

強化部の行事も、過日の美津濃杯をもって、無事に終ることができました。本間にこの一年間、選手や専門委員はじめ会員の方々の絶大な協力により、昨年にも増した自主運営を行うことができたことを、感謝申し上げます。

強化部として実施しました行事を振り返って見たいと思えます。
 昨年九月下旬から十一月までの各日曜日に、三ツ沢の県立スポーツ会館で開きました「オフトレーニング」で、競技選手の体力を機械的に測定し、全日本級の選手の体力と比較してみました。この結果を見ますと、脚筋力が極端に弱い点が明確に出ています。今年、オフ・トレーニングにこの点を重視して、トレーニングに励んで下さい。

雪上行事は、例年通り自主運営で実施し、選手皆さんに関門やコース作り、コース整備等、大変な苦勞をかけた。強化部の競技会に取り組む方針として「スタート順の遅い人でも、条件の良いコースで滑れるように」として競技会中でもコースの荒れ具合を気に留めて実施してきました。特に果連選手権では、全員による大回転コースにつづ足を入れていただき万全のコースを作りあげた点に地元の役員も感激していました。今後も自主運営を続けていきますので、皆さんの一層のご協力をお願いいたします。



総務部より

横浜駅西口に広がる、ゲイヤモンド地下街をどこまでも真直ぐに進むと、ホテルリッチへと出ます。まわりを見廻して下さい。大きな歩道橋があるでしょう。

「そうあれが果連事務所のあるソレイユ台ですよ」
 「こんにちは」「こんばんは」
 スキーギヤルならぬ、テニスキヤルが明るく迎えてくれます。昨シーズンは札幌国際であらゆる雑用を、そして今シーズンは猛吹雪の上越国際でスキーも履かずに、悪戦苦闘の連続であったとか。テニスキヤルの悪戦苦闘がもうひとつ。それはすでに定着した銀行振込制度です。多数の方々に利用していただいています。振込み金送付案内書(総4号)の提出がないために、振込み内容が確認できずに事務処理が停滞してしまっています。銀行振込みの利用者は、必ず振込み金送付案内書を提出するようお願いいたします。

桜の花も散ったある日、いつも利用している某スキー場から「雪が積ったから来ないか」という電話があった。シーズンも終りを告げていたが、電話の主は私がスキーがいらぬと十分心得ているのでさつそくさそくの電話をかけてきたことは私にも察しがついた。私も行きたいところであったが、残念ながら仕事の関係で断念せざるを得なかった。
 一年中滑れるということは全てのスキーヤーの願いである。しかし現実には非常に短い。せめて「SAKだより」でスキーを語りたいたい。次号は九月発行の予定である。どしどし原稿をお寄せ頂きたい。我々スキー仲間同志、紙面を利用しておいに語り合おうではありませんか。
 公報委員 相模原 徳田耕作

編集後記

ついこの間まで白銀の中で滑っていたと思つたらもうシーズンも終つてしまひなんと今年の日程も無事こなし、ほつとしています。二月の中間に悪性の風邪をひき二週間程寝てしまひ大事な時を過ぎ思う存分に滑れなかつた事が残念でしかたがないです。
 私と同じ思いの会員の方も多数いると思ひます。日頃身体をきたえ健康に從ひましょう。
 SAKだより編集の頃になるといつも原稿不足で悩まれます。もっと気軽に各協会、クラブ等で原稿を出して見ませんか。御協力の程お願いします。
 広報委員 中野誠次

第十号の発行が終ると、シーズンも終りを告げる。
 シーズンを終らせたくないし、SAKだよりも発行させたいし、悩みの四月……(平田)



<p>上越国際スキー場 5階建300名収容 リフト3基 上越国際ホテル新築!</p>	<p>信州ビーナスライン 車山高原スキー場</p>	<p>森スポーツ 相模原市橋本1-14-11 0427-73-1450</p>	<p>実工技術開発(株) 045-651-2171代 高い水準・良い成果 (株)実工設計 045-662-7355代 横浜市中区山下町71</p>	<p>うなぎ割烹 みや川 鶴見駅・大本山総持寺横 045-581-4366</p>	<p>(株)横浜学校給食 パン加工場 代表取締役 鳥居 敏男</p>	<p>サニースポーツ 相鉄 三俣川銀座通り ☎(361)1466</p>
--------------------------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------	--------------------------------------------	----------------------------------------------